

北海道釧路郡釧路町マイクログリッド事業が本格稼働

～再生可能エネルギーの地産地消とレジリエンス強化を実現～

スマートソーラー株式会社（東京本社：東京都中央区、代表取締役：手塚博文、以下当社）は、北海道釧路郡釧路町において、再生可能エネルギーを活用した独自の電力供給網（マイクログリッド）を2025年8月14日より本格稼働いたしました。釧路町運動公園エリアの5つの公共施設に太陽光発電と蓄電池を組み合わせた安定した電力を供給し、ゼロカーボンの推進と地域レジリエンス強化を同時に実現します。



釧路町総合体育館駐車場に設置されたソーラーカーポート（マイクログリッド完成写真）

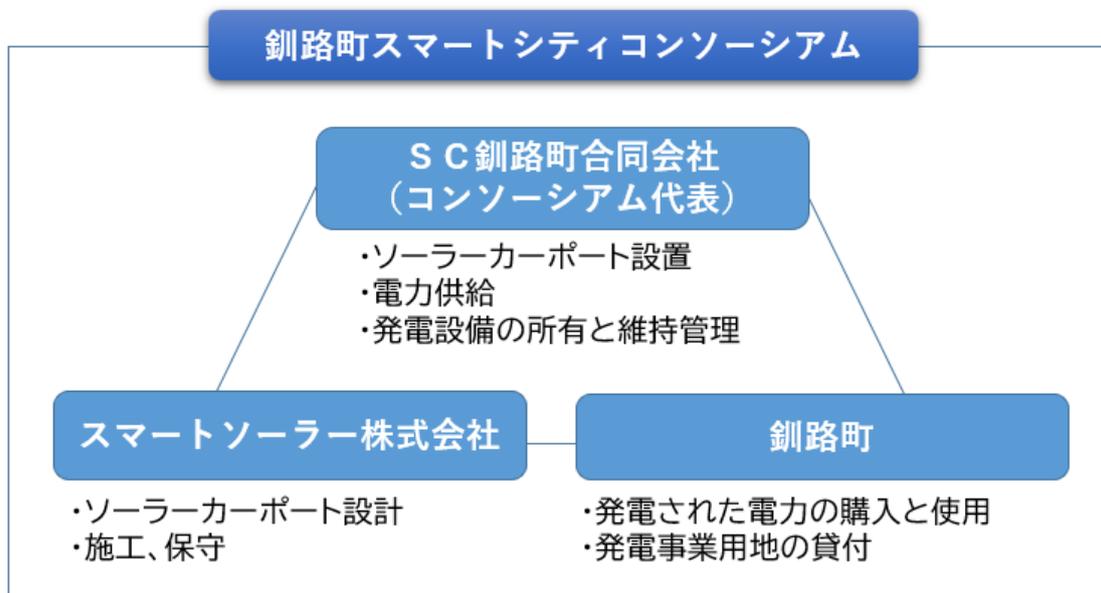
1. 事業の概要

本事業は、釧路町運動公園エリアに位置する総合体育館や温水プールのほか、隣接する富原小学校、富原中学校、学校給食センターの5施設を専用の電線（自営線）で接続し、ソーラーカーポートによる太陽光発電と大容量蓄電池を利用したマイクログリッドを構築するものです。再生可能エネルギーにより発電した電気を効率的に融通し、CO2 排出量の削減と地域レジリエンスの強化を図ります。

なお、本事業には地域貢献の一環として、地元金融機関である釧路信用金庫の融資が活用されています。地域に根ざした金融機関をチームに加えることで、地域経済への波及効果や持続可能な運営体制の強化につなげています。

事業体制とスキーム

コンソーシアム	釧路町、スマートソーラー株式会社、SC 釧路町合同会社
取組開始	2023 年
補助金	北海道「ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業費補助金」2 ヶ年事業
効果	町の初期投資ゼロで再エネ転換、地域レジリエンス向上
小売電気事業者	スマート電気株式会社（スマートソーラー（株）の子会社） 本事業開始にあたり、特定送配電事業、登録特定送配電事業者（経済産業大臣登録番号 B0044）を取得

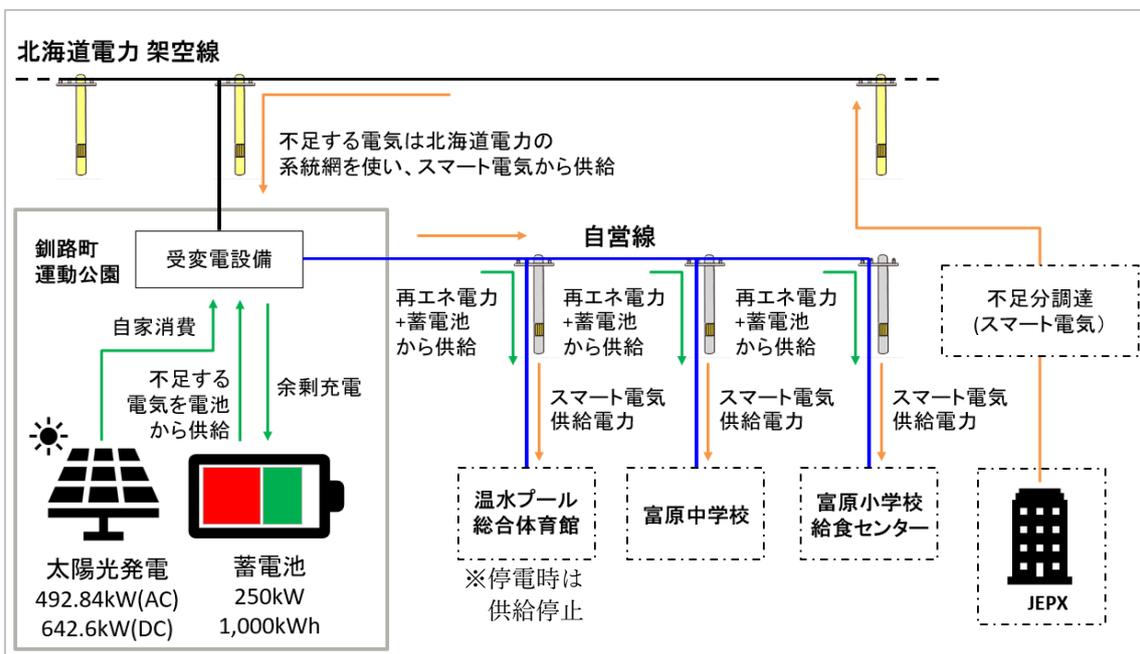


2. 環境への貢献

年間の再エネ発電量は約 636,000kWh、CO₂削減効果は年間約 340t-CO₂を見込んでいます。マイクログリッド内での再エネ自給率は約 50%となり、釧路町が掲げるゼロカーボンシティ実現への重要な一歩となります。余剰電力は他施設へ供給し、地域全体の脱炭素化にも寄与します。

3. 地域レジリエンスへの効果

釧路地域は地震などによる自然災害リスクもあり、本マイクログリッドシステムは停電時でも独自の電源と蓄電池により対象施設への電力供給を継続可能です。特に学校施設は避難所としての役割も担うため、地域の防災力強化に大きく貢献します。



電力供給体制

非常時の電力供給可能時間

①	停電発生時に蓄電池の充電率が100%	通常利用で約4時間、利用する電気を節約することで最大48時間利用可能。
②	停電発生時に蓄電池の充電率が30%	利用する電気を節約することで最大16時間利用可能。
③	翌日が雨で発電が少ない場合	利用する電気を節約することで日中の電気は太陽光発電からすべて供給可能。

